

特別支援学校体験研修



11月9日（木）に、県内特別支援学校7校で、特別な配慮を必要とする児童生徒への対応について、体験研修をしてきました。受講者の振り返りを紹介します！！

【常陸太田特別支援学校】

- 一人ひとりに合った声かけや支援の仕方など、必要な配慮について考えなければならぬと気付くことができました。
- 特別支援学校の先生方の先を見る目やその対応は大変すばらしく、今後の高校での指導に生かしたい。

【水戸高等特別支援学校】

- あいさつ等の生活態度、セルフコントロールといった生徒との普段の接し方を見直す、貴重な経験となりました。
- 生徒一人ひとりと向き合うことの大切さを目の当たりにし、この体験を胸に生徒と接したい。

【勝田特別支援学校】

- 先生方が連携して穏やかな雰囲気の中で、一人ひとりに寄り添っている姿が印象的で、私も生徒に対して温かい気持ちで接していきたいと感じました。
- 「頑張りを認める」「障害の有無に関わらず、個に応じた指導という点は同じ」ことを学んだ。

【鹿島特別支援学校】

- 見た目は障害等を抱えていなさそうな生徒もおり、特別な支援を必要としている生徒が多いことを知ることができました。
- 生徒の話をしっかり聴き、沢山話してもらえる安心感を与えられる教員になりたいと思った。

【土浦特別支援学校】

- 普段「生徒にしてあげられること」に目を向けていたが、「生徒ができることを支援する」という視点で、生徒の立場になって、自主性・自立性を大切にして指導していきたいと思った。
- とても素直で働き者、向上心の強い生徒に感動した。



【協和特別支援学校】

- 生徒の行動の背景を捉え、対応の仕方、あえて対応しない視点など考えさせられた。また、褒めることの重要性についても学んだ。
- 勤務校の生徒の指導について、特別支援学校との連携が必要だと感じました。



【境特別支援学校】

- 見た目では分からない障害のある生徒に対して、こちらがアンテナ高く対応していかないと、生徒が生きにくいのではないかと、考えました。
- やるべきこと、できることはきちんとさせる。やるまで待つ、という厳しさと根気強さが印象的でした。